

当日版!



# いけませかわらばん 第1号

2013年7月27日 いけませ夏フェス in よいち現地実行委員会発行

## 雨天も吹っ飛んだぞ ボランティアの熱気で



昨日はまずまずの天気だったのに、余市町は今朝方3時頃から5時までどしゃ降りの雨が降りました。

「これでは夏フェスの開催が出来ないぞ」と地元ボランティア心配するほどでした。

しかし、そこは天のみかたかボランティアの熱気か上昇気流がどんどんわいて雨雲は6時頃にはすっかり飛び去ってしまいました。

余市町外からボランティアが集まり始めた9時過ぎには夏の青空がのぞきはじめ、気温もぐんぐん上がってきました。

朝早くから準備を進めてきたボランティアの人たちも、「これは天気も味方して最高の夏フェスになるぞ」と意欲満々で準備を進めていました。



## 全道から続々 参加者が集合



余市紅志高校玄関前ではバグパイプで歓迎!!  
(Yoichi Piping Society の皆さん)

午前11時頃から会場となった余市町余市紅志高等学校には全道から参加者が集まりはじめました。

余市町地元ボランティアのやまもとしげこさんは「いつもは個人参加ですが、今年は地元開催なので特にがんばります」、余市エルプラザのにしいさんは「参加は初めてです。余市のおいしいものをたくさん知ってもらいたいです」と地元勢は意欲満々。

苫小牧からグループで3人で参加したむらたなつきさんとかわばたれなさんは「花火が楽しみです」、くせつよしさんは「毎年各地の名産の食べ物をたのしみしています」。札幌から3回目のかとうはるか・はるとさんは「スタンプラリーが楽しみ」などと語ってくれました。



# 今年も原点回帰だ！地域の中にたましいをぶちこめ！ 高橋実行委員長のあいさつ

ボランティアさんの昼食も終わり、参加者もほとんど集まった午後1時、体育館で今年のオープニングセレモニーが始まりました。

高橋実行委員長は「原点回帰、私は北のこの地で宝物、仲間を見つけた。たすけあい、ささえあい、そして巡り合いが大事だ」、「地域の中にたましいをぶちこめ」とゲキをとばしました。

現地実行委員会の吉野幸雄さんは「900名ボランティア含め 1400名の皆さんが参加し、夏フェスを開催することができ、うれしく思います。



2日間しっかりと余市を楽しんでいって欲しい、またお互いの共通体験を作っていって欲しい」とあいさつをしました。

また、嶋保余市町長は「皆さんに余市においていただきありがとうございます」と歓迎の言葉を述べ「この会場に集まっている皆さんの熱い思いを次の開催地にも伝えていけるようにしたい」とあいさつをしました。

そして参加者全員で「いけまぜの歌」をたからかに大合唱しました。

このあと北海ソーラン太鼓保存会の太鼓演奏のアトラクションがありました。





当日版!



# いけませかわらばん 第2号

2013年7月27日 いけませ夏フェス in よいち現地実行委員会発行

## いっせいにポイントラリー開始!



オープニングセレモニーが終わり、みんなはいっせいに校舎内やグラウンドなどへ飛び出していきました。ポイントラリーの始まりだ。

グラウンドではラジコンカーレース・金魚すくい体験・シャボン玉・手形・ヨーヨーつり・コルク・キュウリ収穫体験などが行われ、校舎内ではボールプール・ハンモック・空気砲などのほか、マッサージ・整体・エステ・口腔ケアなどが行われました。

まつもとちゆきさん(余市・たくさん参加しています)は「粘土を溶かしたスライムは学校でもやっているのだからすきです」、さとうなつさん(札幌市・3回目)「氷はさわるととっても気持ちがいいです」、いとうふみきくん(小樽市・何回も)は「ラジコンカーは初めてで楽しいです」、てらしまあいとくん(札幌市・3回目)「ヨーヨーと金魚釣りをしてきました、花火を楽しみにしています」、いまほりそうせいくん(余市町・3回目)「今から明日のフラダンスが楽しみです」、おかざきのぞみさん(余市町・初めて)はえんぴつ立てを作りながら「初めて来たけれどもとっても良かった」、もりかいとくん(苫小牧市・2回目)「ハンモックとボール投げが楽しかった、今夜の花火が待ち遠しいです」、やぎさおりさん(苫小牧市・2回目)「今年はいけチャレンジの受付でがんばっています」と元気いっぱい語ってくれました。

また、武道場ではお母さんたちも楽しんでいました。エステの抽選に見事に当たったまつだじゅんこさん(滝川市・初めて)は「子供と離れ自分のための贅沢な時間を過ごすことが出来ます」と喜びを語ってくれました。

ほかのコーナーではフットマッサージや口腔ケアのブースが設けられ、参加者がそれぞれ関心のあるブースに詰めかけ、真剣に相談などを受けている光景が見受けられました。







# ばんごはんはまかせなさい

今年の晩ご飯は余市のおばさんたちの手作りです。日赤奉仕団や食生活改善推進委員会など4団体のおばさんたちがこころをこめて作ってくれました。

ほそがいきよこさん（余市町・初めて）は「今日のメニューはリンゴのほっぺジュースをタプリ使ったとってもおいしいカレーです。これにマカロニサラダも付けました。きっと満足いただけると思います」と自信たっぷりに語ってくれました。

また、校舎内の調理室では特別食づくりも順調に進んでいました。さとうあけみさん（苫小牧市・いっぱい参加してます）は「カレーとシチューと野菜コンソメスープやマッシュポテトを作っています。毎年少しでもバージョンアップしておいしい夕食づくりをこころがけています」といきごみを語ってくれました。さあー！食べるぞ。。。。。





当日版!



# いけまぜかわらばん 第3号

2013年7月27日 いけまぜ夏フェスよいち現地実行委員会 発行



今年のいけまぜ夏フェスの夕食はカレーライスです。地元のお母さんたちが町内7会場に分かれて作ってくれました。

今年の最大の特徴は地元余市産の100%りんごジュースがタップリと使われていることです。盛りつけをしてくれた地元ボランティアのおばさんたちも大忙し。おかわりする子もいるなどカレーは大人気でした。



やえがしりょうたくん(恵庭市・はじめて)は「しゃぼんだまを一番楽しみました。カレーおいしいです」、よしだくるみさん(札幌市・8回目)は「カレーとってもおいしいです。ネイルサロンが一番うれしかった」、やまだみきなさん(札幌市・2回目)は「去年のも今年のもカレーライスはおいしいです。花火の後に帰ります」、ほしのたいきくん(札幌市・7回目)のお母さんは「地引き網に行って海に足を付けてきました。今、すごい勢いで食べています」、よこたゆうとくん(札幌市・2回目)のお母さんは「工作作りと音楽を楽しんでいました。カレーおいしいです」と語ってくれました。

参加者やボランティアは会場の芝生に車座になって座ったり、用意されたテーブルに座るなど思い思いのスタイルで夕食を楽しみました。

さあ、ご飯の後の花火はどんなのかな？



## ご飯を食べたら花火だぞ



# 今日の日...楽しい思い出





当日版!



# いけまぜかわらばん 第4号

2013年7月28日 いけまぜ夏フェス in よいち現地実行委員会発行



夕食が終わる頃にはそれまで生暖かった風も少し冷たさ  
を増していきました。雨がぽちぽち落ちてきました。グランド  
に集まった参加者といけまぜ小僧に点火をして、大きな声  
でカウントダウンをして花火大会が始まりました。大輪の花  
火がズドンと打ちあがり始めました。



次々と打ち上がる大輪の花火が咲くたびにグランドに集まった人や校舎の前にいた人  
たちから「ワーオーやったぜ!」「ウー キレー スンゲー」などの大きな歓声や拍手  
がわき上がっていました。雨がぽちぽちながらも、はっきり・くっきりと花火が咲いて  
みんなの大きな天まで届くような歓声が花火大会の最後までグランドに響き渡っていま  
した。

## さあ一寝る準備はできたかな

花火が終わると今日のイベントは全て終了。残念ながら  
からお泊まりができずに約80家族が1日だけの参加とな  
りました。花火大会から戻ってきた参加者は、宿泊場所  
に移動し布団の準備をしたり、顔を洗ったり、歯を磨い  
たりなどして、今日一日の楽しい思い出を胸にしまい込  
んで消灯の時間を待っていました。紅志高校に泊まった  
参加者の中には興奮してなかなか寝付けない子もいた  
り、早々と眠りについてしまった子もいました。さて今  
夜はどんな夢を見るのかな



心配されていた雨もみんなの寝る頃には完全に上がり、朝は曇りがちながますますの天気となりました。6時20分に高橋先生の「おーい起きろ、早起きは三文の得だぞ・・・!？」の声といけまぜの歌でみんなが起床始めました。

しもだしずくさん（北広島市・2回目）のお母さんは「興奮して眠れなかったです」、みたざきかんたくん（鹿追町・5回目）のお母さんは「途中で目覚めてしまいました。暑さに弱いけど運動会がんばります」、いとがわひろきくん（札幌市・10回目）は「二十歳になったので懇親会に初めて参加しました。コーラを飲みました」、さとうみゅーとさん（北広島市・初めて）は「夜はぐっすり眠れました。朝の5時半から遊んでいるので、今眠たいです」などと元気に答えてくれました

集まった参加者は、リーダに合わせてラジオ体操を行いました。



## 朝はラジオ体操から



## 朝ご飯は超豪華メニューだ

朝ご飯は、ロールパン・イギリスパン・クロワッサンの3種類。これにウィンナー・バナナ・ミニトマトが付き、紅志高校生の手作りのブルベリーなど3種類のジャムが付いたうえで牛乳とリンゴのほっぺジュースが付く超豪華余市名産メニューとなりました。

朝ご飯を用意してくれた地元ボランティアのほんまたつこさん（古平町・初めて）は「朝5時に起きて、6時から準備を始めました。きっとおいしく食べてもらえると思います」と準備の手応えを答えてくれました。

ますだゆかさん（稚内市・何回も）のお母さんは「2人で懇親会に行きました。朝ご飯はとってもおいしいです。今日は一日ニコニコ笑って過ごすつもりです」、たかはしせいやくん（小樽市・7回目）のお母さんは「ここで毎年知り合いが増えていくので、会うのが楽しみです」、ならさくらこさん（増毛町・8回目）は「ブルベリージャムがおいしかったです。運動会がんばります」、いずみもえさん（京極町・8回目）は「パンは苦手です。運動会はボランティアなので盛り上げます」などと答えてくれました。





当日版!



# いけませかわらばん 第5号

2013年7月28日 いけませ夏フェス in よいち現地実行委員会発行

## グラウンドで運動会の始まりだ

運動会はグラウンドで開催されました。運動会開催をお知らせするアナウンスにつられて参加者が続々とグラウンドに集まってきました。

運動会は笛の合図で何人かが集まり、自己紹介をすることから始まりました。4つの色のグループに分かれ競技に移りました。

最初に手つなぎ長さ競争が行われ、みんなで長さを競いました。

この後、借り人競争やボール運びリレーが行われ、勝負が終わるたびに大きな歓声があがっていました。

さあ、みんなはがんばれたのかな？



## 全ての皆さんに感謝いたします 吉野現地実行委員長

今回の夏フェス現地実行委員会の委員長を務めていただいた吉野委員長は、27日の開会式の後夏フェスの2013inよいちの実施に当たり「たくさんの方々に余市においていただき本当にありがとうございました。このイベントのためにご支援・ご協力・ご協賛をいただいた皆様と参加者の皆様に心からお礼申し上げます」と感謝の言葉を述べていただきました。



# いよいよ今年のフィナーレ

## 来年もまたお会いしましょう

フィナーレは高橋いけまぜ実行委員長の「やるぞー」で始まりました。

参加者を代表して、なかむらなつみさん（余市町）、ボランティアを代表してたけうちあやかさん（東京都・初めて）らに嶋保余市町長から「がんばりましたね、お疲れ様でした」と終了証書が渡されました。

さあ来年も修了証をもらうぞ!!!

## 次期開催地は恵庭です

来年のいけまぜ夏フェスは恵庭市が会場となります。余市のまつうらさんから恵庭のおかださん親子達にいけまぜの旗が手渡されました。

おかださんは「みんなで準備をして待っています。来年も元気に再会しましょう」と抱負を語ってくれました。

さあ、参加者の皆さん来年も恵庭に集まりましょう!!! 楽しみだなー!!!

参加者一人一人がいろいろな思い出を作って今年のいけまぜが終わりました。フィナーレの会場では楽しかった思い出をより強く心に残すため全員で記念写真を撮影し、来年の再会をお互いに誓い合いました。

帰り支度を済ませた参加者はそれぞれバスや自家用車で家路につきました。



## 来年、恵庭市で再会しましょう!!!

